

Back to おがわぎかい No.104

議会だよりを読んだ感想を議員がインタビュー



これからも
応援します!

中村美枝子さん
(みどりが丘四丁目)
NAKAMURA Mieko

前号 (No.104) を読んだ率直な感想を

季節を感じさせるデザインが素敵で毎号楽しみにしています。孫娘たちと出かけた3年振りの「七夕まつり」の光景が表紙になっていましたね。紙面の随所に身近なテーマが散りばめられていて、自分事のように読みました。

—ズバリ、議会・議会だよりに物申す?!

2人の息子たちも巣立ち、現在は趣味のガーデンニングに没頭しています。当時に比べると、【子どもの声】は少なくなっただけでしたが、議会だよりを通じて、役場や議会の皆さんが町の課題解決に努めていることが分かりました。これからも応援しています。

中村さんイチオシの記事はP.2~3「町長インタビューと道の駅リニューアル関連」



Gikai's comment
P2-3見開きの特集記事は、毎号こだわりをもって編集しています。今後の紙面づくりもどうぞご期待!

わたしのコメント

町民の声、「聴きます×つなぎます」

だから 小川が好き!

町への想いを寄稿していただくコーナー

小川町今昔物語り
小川町大好き!

山下勝三さん
(松若町)

YAMASHITA Shouzou



行政区松若町は町の中央に位置し、現在戸数は15軒で町で一番小さな行政区です。今から70年前は戸数50軒余り、ほとんどが商家で蹄鉄屋、櫛屋、桶屋、紺屋、足袋屋等が軒を連ねて活気のある町でした。戦後70余年、私たちの生活は豊かで便利な生活になりました。

小川町で昔と変わらないのは、町の中央を流れる槻川と盆地を取り巻く山脈み谷間には田畑が開け、何百年も続く農業や和紙作りなどが営まれています。町の人たちの暮らしを、遠い外国の人たちもカメラを片手に町の散策をしています。近年、人々の健康づくりから官ノ倉山を始め、小高い山へのハイキングに訪れる人が増えています。町を訪れた人にとっては、道端の祠や石造物など、全てが珍しいのです。そこに住む私は温かい心で迎え、ともに「小川町大好き」の絆になってもらうことでしよう。

次の定例会は 11月30日(水) 午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。詳しくは
小川町ホームページへ

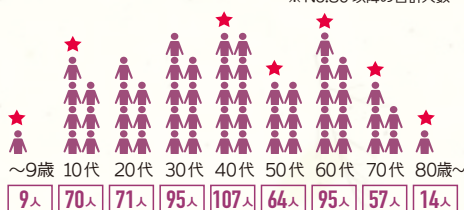


議員の 議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ (★印は今号取材)

582人

※No.80以降の合計人数



●今号の表紙●
来春に有機農業家デビュー!!

小川町の有機農業にあこがれ、移住して来た中島ファミリー。もうすぐ4人目の子どもが誕生予定。ご活躍を期待します。

編集後記 今回も編集会議は長時間にわたる議論の場となりました。特に決算議会後ということもあり、特集をはじめ、質疑の選択や内容の確認など、いつも以上に気を引き締めて委員会に臨みました。是非、最後までお読み下さい。(笹本)

発行責任者：小川町議会議長 山口勝士
編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高橋功人 副委員長 田中照子
委員 高瀬 勉・笹本孝幸・五十嵐康博
稲村壤治



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD (ユニバーサルデザイン) フォントを使用しています